

2022年度 第7回豊岡市教育委員会の会議（定例会）会議録

○ 開会及び閉会の日時及び場所

2022年10月24日（月）

場 所 豊岡市役所本庁舎 7階 第3委員会室

所 在 地 豊岡市中央町2番4号

開会時間 午後1時30分

閉会時間 午後2時30分

○ 出席委員の氏名

教育長	嶋 公 治
委員（教育長職務代理者）	佐伯 和亜
委員	向井 美紀
委員	飯田 正巳
委員	成田 壽郎

欠席委員 なし

○ 教育長、委員及び傍聴人を除くほか議場に参加した者の氏名

事務局	教育次長	正木 一郎
	こども教育課長	和田 晃典
	こども教育課参事（こども支援センター所長）	惠後原 博美
	こども育成課課長補佐	佐伯 勝巳
	教育総務課長	永井 義久
	教育総務課課長補佐	植田 真美
	教育総務課教育総務係長	藤田 祐

事務局以外 生涯学習課長 旭 和則

○ 日程

第1 会議録署名委員の指名
飯田 正巳 委員

第2 前回の会議録の承認
2022年9月26日（月）開催 第6回定例会

第3 教育長の報告

第4 地域コミュニティ振興部の報告
1 生涯学習課

- (1) 2022年度「豊岡市二十歳を祝う会」概要について

第5 議事

- 報告第27号 教育長が臨時に代理した令和4年度第7号補正教育関係予算案に関する意見について承認を求めることについて
- 報告第28号 寄附物件の受納について

第6 教育委員会事務局の報告

1 教育総務課

- (1) 合橋・高橋地区小学校園統合準備委員会報告書について

2 こども教育課

- (1) 生徒指導について
(2) 「非認知能力向上対策事業」ガバメントクラウドファンディングについて
(3) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について

3 こども育成課

- (1) 2023年度幼稚園・保育園・認定こども園の入園児募集について
(2) 2023年度放課後児童クラブの入所者募集について

第7 委員活動報告

第8 教育委員会活動予定

- 1 次回教育委員会会議の日程について
- 2 今後の活動・行事予定

開会 午後1時30分

(教育長)

ただ今から、2022年度第7回教育委員会会議を開会いたします。本日は、すべての委員が出席していますので、会議が成立していることを報告いたします。

【日程 第1 会議録署名委員の指名】

(教育長)

日程第1 会議録署名委員の指名です。本日は、飯田委員にお願いしたいと思いますので、よろしくお願ひします。

【日程 第2 前回の会議録の承認】

(教育長)

日程第2 前回の会議録の承認についてです。9月26日に開催しました第6回教育委員会会

議の会議録について、委員の皆さんの承認を求めるものです。誤った点・修正などございませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

「なし」という声がありますので、会議録については承認することに決定いたします。

【日程 第3 教育長の報告】

(教育長)

日程第3 教育長の報告です。前回9月26日の教育委員会会議から、本日の会議までの私の主要な教育活動の概要について報告いたします。本日配付した資料をご覧ください。

《教育長の報告概要》

10月5日と10月14日にパネルディスカッション「多様な人材が力を発揮できる職場環境づくり」の打合せを行い、そして、10月18日に収録を行いました。かなり時間をかけて打合せをし、収録に臨みました。独立行政法人国立女性教育会館が文部科学省の委託を受けて、「学校における男女共同参画研修」をオンラインで実施し、研修内容を11月14日から2023年1月20日までの間、インターネット配信するという取組です。

国立女性教育会館は、8月に中学校生徒会リーダー研修会を運営して下さった団体です。そのときにいろいろな話をして、私にパネリストとしての参加依頼があった理由は、決して、豊岡市教育委員会は先進的な取組ができていくわけではなく、管理職教育もほとんどできていないのですが、市長部局がジェンダーギャップ解消に取り組み、教育委員会はその市長部局と一緒にジェンダーギャップ解消に取り組んでおり、そうした例が全国で少ない、珍しいということでした。コーディネーター1人とパネリスト3人でパネルディスカッションを行いました。パネリストは全国公立小・中学校女性校長会の会長、株式会社日立システムズ人事総務本部 ダイバーシティ&エンゲージメント推進室の方、それから私の3人です。

私がパネルディスカッションで報告した内容は、次のことです。2020年度、2021年度、2022年度で豊岡市の8割の学校長が退職します。2020年度9人、2021年度10人、今年度11人が退職するという状況です。教頭が昇進していきますが、このままでは教頭についても人数が足りないということに気づきます。管理職をどうしようかと考えたとき、女性教員は小学校で6割、中学校で5割いるにもかかわらず、管理職になっている女性はわずか8%でした。女性の力を借りないと、絶対に豊岡の教育はやっていけないだろうと思い、このことに取り組んでいこうと判断しました。これまでなぜ女性が管理職になっていなかったかということを経験者に問うたことがなく、家事や育児、あるいは介護と仕事の両立が難しいからかなと想像していたのですが、このことはしっかりと理由を聞くべきだと思い、国立女性教育会館が2018年度に小中学校教員を対象にアンケート調査を行っていたので、同様の調査を2019年度に行うことにしました。

すると、問い「管理職になりたいと思いますか」に対して「なりたくない」と答えた豊岡市の女性教員の割合は97%で、全国は93%、そして、豊岡市の男性教員は73%で、全国は71%でし

た。なりたくない理由を聞いてみると、「自分にその力量がない」と思っている女性が 71%であったことに気づきます。なりたくない理由として「育児と介護の両立不可」は 45%、「労働時間が長い」は 38%でしかなく、71%の回答があった「自分にその力量がない」ことがネックになっているのであれば、それを解決する対策が必要であろうと考え、校長会を開催し、組織的・積極的・継続的な声掛けをしていく、また学校経営や学校の大切な意志決定場面に女性が参画できるような組織を作ることに取り組みました。

女性の管理職が少ないという現実、よくよく考えてみると、子どもたちにとっても絶対によくないと思うようになりました。「担任は女性の先生で、とても素敵なお授業をしてくれるし、私もあんなふうになりたい。できれば来年も先生に担任を持ってもらいたい」と強く思っている子どもはたくさんいると思います。授業も上手に教えるが、管理職にはなっていないという事実がずっと続いており、管理職は教頭も校長も男性になるもの、がんばっても管理職は男性なのだ、子どもたちのキャリア形成において、私たちはそうした隠れたカリキュラムを植えていたのではないかと思います。「なりたい」とか「なりたくない」ではなくて、課題を解消し、女性が管理職登用されることは子どもにとってもよいことなのだと確信するようになりましたので、取り組んでいこうと思いました。

そうしたときに後押しになったのが市長部局の策定したジェンダーギャップ解消戦略とジェンダーギャップ対策室の新設でした。今年度は教育委員の皆さんとジェンダーギャップ研修会を実施しました。中学校生徒会リーダー研修会も実施しました。それから、校園長を対象にジェンダーについて考える研修会を実施しました。スタートしたばかりですので、すぐに結果は出ませんが、身近なことでできることから取り組んでいきたいと思えます。

実状として、市内に中学校が 9 校ありますが、生徒指導はすべて男性教員が担当しています。女性の教務主任は 2 人だけで、女性学年代表もたった 4 人です。重要な意志決定場面に女性はほとんど参加していないことが予想されます。生徒指導や不登校、問題行動に対しても、男性が経験してきた経験値、男性社会で経験してきた経験値でもって解決しようと思えば、当然視野が狭くなります。そうではなく、女性の視点や母親の視点から、またはそうしたことを経験し、いろいろな取組をした人たち、あるいは若者等からいろいろな意見を集約すると、今までと違った解決方法が出てくるかもしれません。校務分掌にアンコンシャス・バイアスをはっきりと表れていますので、このことを意識して、少しでも改善していくよう来年度は取り組んでいきたいと思えます。

うまくいくかどうかは分かりませんが、課題が見えてきたので、まずは実践してみるという私の意思表示のようなパネルディスカッションでした。また、教育委員の皆さんには、ジェンダーギャップをオープンにして、見てもらう必要があると思えます。難しい課題だと認識しながら、今後もできる限り報告していきたいと思っています。

【日程 第 4 地域コミュニティ振興部の報告】

(教育長)

日程第 4 地域コミュニティ振興部の報告に移ります。生涯学習課 (1) 2022 年度「豊岡市二十歳を祝う会」概要について、生涯学習課長の説明をお願いします。

1 生涯学習課

(1) 2022年度「豊岡市二十歳を祝う会」概要について

《生涯学習課長の説明概要》

2022年度「豊岡市二十歳を祝う会」概要について、資料に基づき説明する。

今年4月の民法改正により、成年年齢が18歳に引き下げられたが、豊岡市では引き続き二十歳の方を対象に従来の成人式を「二十歳を祝う会」に名称変更し開催する。開催日は2023年1月8日(日)、会場は豊岡市民会館文化ホール、対象者は2002年4月2日生まれから2003年4月1日生まれの方で、豊岡市に住民登録のある方、及び希望者である。

昨年、一昨年と新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、主催者側、来賓の出席人数を制限していたが、今年度は従来どおりであり、教育委員の皆さんにもご臨席を賜りたい。

当日の日程について、受付は午後0時45分から、式典は午後1時30分から午後2時10分を予定している。昨年、一昨年と新型コロナウイルス感染症による会場の定員の制限があったことなどから、二部制としていたが、今年度は従来どおり一部制として開催する。

式典後は写真撮影、お祝いメッセージ動画の上映を行い、午後2時30分に終了予定である。案内状については、11月中旬に豊岡市に住民登録のある対象の方に発送を予定している。現在のところ、新型コロナウイルス感染症は小康状態を保っているが、会場では引き続き、マスク着用、手指の消毒、会話抑制等の感染症対策を行う。なお、新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、延期・内容変更をする場合がある。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

【日程 第5 議事】

(教育長)

日程第5 議事に移ります。報告第27号 教育長が臨時に代理した令和4年度第7号補正教育関係予算案に関する意見について承認を求めることについて、教育総務課から順に説明をお願いします。

○ 報告第27号 教育長が臨時に代理した令和4年度第7号補正教育関係予算案に関する意見について承認を求めることについて

《教育総務課長の説明概要》

歳出は、賄用需用費2,229,000円である。内容は給食の食材料購入費用(物価高騰部分)であり、保護者に代わって、市が公費で負担するものである。1食当たりの単価では、10月以降は小学生がプラス3円、中学生はプラス4円となる。

歳入は、児童、生徒については地方創生臨時交付金1,935,000円を充て、教職員及び給食センター職員については負担いただくものである。

《こども育成課課長補佐の説明概要》

歳出は、まず、私立保育園等振興事業 1,010,000 円である。私立保育園 21 施設と認可外保育施設で給食を提供している 3 施設を含む 24 施設に対して、給食の食材料購入費用の物価高騰分を補助するものである。6 月の補正予算第 4 号と同様のもので、10 月以降の上昇分をさらに見込んで追加する。

そして、児童保育運営事業 301,000 円である。公立の保育所・認定こども園等 7 つの施設に対して、給食の食材料購入費用の物価高騰部分を補助し、保護者の負担を求めずに公費で対応するものである。

歳入は、まず、地方創生臨時交付金 1,249,000 円である。私立保育所等園児分として 1,010,000 円を、公立保育所等園児分として 239,000 円を充当するものである。

そして、雑入 62,000 円は職員から公立園給食費を徴収するものである。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、令和 4 年度第 7 号補正教育関係予算案に関する意見について、教育長が代理執行を行ったことをご承知おきください。

続きまして、報告第 28 号 寄附物件の受納について、教育総務課長の説明をお願いします。

○ 報告第28号 寄附物件の受納について

《教育総務課長の説明概要》

寄附物件の受納について、資料に基づき説明する。

団体 6 件、個人 2 件、合計 8 件の寄附申出があり、これを受納したので報告する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、寄附物件の受納を行ったことをご承知おきください。

【日程 第 6 教育委員会事務局の報告】

(教育長)

日程第 6 教育委員会事務局の報告に移ります。教育総務課 (1) 合橋・高橋地区小学校園統合準備委員会報告書について、教育総務課長の説明をお願いします。

1 教育総務課

(1) 合橋・高橋地区小学校園統合準備委員会報告書について

《教育総務課長の説明概要》

合橋・高橋地区小学校園統合準備委員会報告書について、資料に基づき説明する。

合橋・高橋の統合準備委員会は、これまでに4回開催した。

学校名、校歌、校章・校旗等については、合橋小学校、統合後の認定こども園は合橋認定こども園とする。

記念行事・恒例事業については、閉校式を2023年3月25日（土）に、統合式を4月7日（金）に実施する。

学校と連携した地域事業については、コミュニティ組織、学校・園及びPTAで従来事業をもとに引き続き、協議・調整する。

通学・通園方法については、市営バス「イナカー河野辺線」とスクールバスを併用する。11月4日に通学訓練を行う。

学校園指定用品については、統合後は制服を着用しない。統合前の合橋小学校の制服を私服とし、使用することは可能とする。

名札については、統合後は使用しない。これは、高橋小学校は今までから少人数のために名札を使用せずとも、すべての児童の顔が覚えられているため、合橋小学校でも名札を使用しないとするものである。

認定こども園については、合橋認定こども園のものに統一する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(佐伯委員)

子どもの人数は合橋小学校のほうが高橋小学校より多いです。高橋小学校の子どもたちが合橋小学校の子どもの名前を覚えるのに名札は必要ではないのかなと思いました。

(教育総務課長)

場所や名称は「合橋」が残っており、合橋小学校PTAは、今回の統合を円満に進めようという意識が働いておられるようです。将来、資母小学校と統合する可能性がありますので、その時点で、また制服や名札等についても新たに考えるということをお聞きしました。統合準備委員会で決定されたことではありますが、不具合があれば、また学校の中で検討されることも出てくると思います。

(教育長)

統合してしばらくの間は、自分たちが図工の時間等で名札を作ったり、名札に似顔絵や趣味等を書いたりし、それを付けることでもよいのかもしれません。教育委員の意見は伝えさせていただきますが、このことはあくまで学校が校則の中で決めることとなります。

(教育長)

その他質問等はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、こども教育課からの報告に移ります。(1) 生徒指導について、こども教育課長の説明をお願いします。

2 こども教育課

(1) 生徒指導について

《こども教育課長の説明概要》

生徒指導について、資料に基づき説明する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、(2)「非認知能力向上対策事業」ガバメントクラウドファンディングについて、こども教育課長から説明をお願いします。

(2) 「非認知能力向上対策事業」ガバメントクラウドファンディングについて

《こども教育課長の説明概要》

「非認知能力向上対策事業」ガバメントクラウドファンディングについて、資料に基づき説明する。

今年度も「非認知能力向上対策事業」ガバメントクラウドファンディングを実施する。募集期間は10月4日から12月31日までで、募集額は1,000,000円である。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、(3) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について、こども支援センター所長

の説明をお願いします。

(3) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について

《こども支援センター所長の説明概要》

豊岡市こども支援センター活動状況報告について、資料に基づき説明する。

不登校の取組状況は、通級児童生徒数が実数6人、延べ47人である。教育相談には不登校相談など11人が利用した。

特別支援の取組状況は、例年並みで、電話相談は27件、来所や学校園を訪問しての相談は38件、検査は20件実施した。

家庭児童相談の取組状況は、9月の虐待通告はなし。家庭相談員が対応した件数は、全体765件であり、家庭訪問は45回訪問している。個別支援会議は3件、9人の支援方針を協議した。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

続きまして、こども育成課からの報告に移ります。(1)2023年度幼稚園・保育園・認定こども園の入園児募集について、(2)2023年度放課後児童クラブの入所者募集について、こども育成課課長補佐の説明をお願いします。

(1) 2023年度幼稚園・保育園・認定こども園の入園児募集について

《こども育成課課長補佐の説明概要》

2023年度幼稚園・保育園・認定こども園の入園児募集について、資料に基づき説明する。

申込期間は、幼稚園・保育園・認定こども園すべて11月7日(月)から30日(水)までとなる。

変更点2点について、1点目は、今年度末をもって豊岡めぐみ幼稚園と豊岡ひかり幼稚園を統合し、豊岡幼稚園となる。そして、田鶴野幼稚園・新田幼稚園・中筋幼稚園・神美幼稚園の4つの幼稚園は閉園となる。

2点目は、これら園の統合や閉園に伴い、職員の集約が図れるため、サービスの拡充を図る。具体的には、1号認定子ども(教育認定児)の受け入れについて、公立の認定こども園でも、現在の4・5歳児のみならず、来年度は3歳児も可能とする。また、育児休業時の継続入園できる範囲を拡大する。現在、施設を利用している4・5歳児については、小学校就学を控えていることから、子どもへの環境の変化を最小限に抑えるため、育児休業中であっても、保育の必要性があると認め、施設を継続して利用できることとしている。来年度からは、3歳児も育児休業時の継続入園ができることとする。

幼稚園・保育園・認定こども園の募集内容について、幼稚園では、対象は園区内に住民登録がある児童である。対象となる児童のうち、現在どこにも通園していない児童の家庭に10月末頃

に案内文を郵送する予定である。保育料は無料で、申込先は各幼稚園である。

保育園では、申込先はこども育成課・各振興局地域振興課・各保育園である。

認定こども園では、4・5歳児の教育認定児については、現在どこにも通園していない児童の家庭に10月末頃に案内文を郵送する予定であり、申込先は各認定こども園である。

(2) 2023年度放課後児童クラブの入所者募集について

《こども育成課課長補佐の説明概要》

2023年度放課後児童クラブの入所者募集について、資料に基づき説明する。

申込期間は、11月7日（月）から30日（水）である。対象は市内の小学校に就学する放課後留守家庭児童で、受入れに余裕がある場合のみ、幼稚園児も受け入れる。利用時間は、小学生は午後6時30分まで、幼稚園児は午後4時までである。申込先は、新規の方はこども育成課・各振興局地域振興課、継続の方は各放課後児童クラブとしている。

今回からオンライン申請もできる。二次元コードを読み取ると、市ホームページの申請のページにつながる。

開設場所について、変更点が3点ある。

1点目は、豊岡第2放課後児童クラブは現在、豊岡ひかり幼稚園で開設しているが、豊岡めぐみ幼稚園・豊岡ひかり幼稚園の統合に伴い、豊岡小学校に移転する。

2点目は、小学校の統合に伴い、静修放課後児童クラブ及び高橋放課後児童クラブを廃止する。静修は、日高放課後児童クラブまたは日高第2放課後児童クラブに、高橋は、合橋放課後児童クラブに入所していただく予定である。

3点目は、神美放課後児童クラブは現在、神美幼稚園に開設しているが、閉園に伴い、園舎を放課後児童クラブの専用施設とするため、現在、神美小学校で開設している神美第2放課後児童クラブを廃止し、神美放課後児童クラブに集約する。

なお、今年度末で閉園する田鶴野幼稚園・新田幼稚園についても放課後児童クラブの専用施設に移管する予定である。以上の変更により、施設数は今年度の31から28施設に減少することになる。

わくわくまつり2022について、当日配付資料に基づき説明する。

わくわくまつり2022を11月26日（土）午前11時から午後4時まで、WACCU TOYOOKA（アイティ4階・7階）で開催する。4階が今春から新しくなり、また7階に11月からこども支援センターが移転してくることに伴い、イベントを開催しようというものである。

いろいろな催し物や体験コーナー、お楽しみコーナーを予定している。そして、宝探しは1日4枠あり、最後の4枠目については無料で入っていただける。

会場の受付でスタンプラリーと案内チラシを設置する予定である。

（教育長）

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

（佐伯委員）

宝探しは、すべての枠が無料だと思われてしまいますのでチラシに時間を掲載したほうがよいと思います。

(教育長)

その他質問等はありませんでしょうか。

(委員)

なし

【日程 第7 委員活動報告】

(教育長)

続きまして、日程第7「委員活動報告」に移ります。

(飯田委員)

学校訪問の予定がまだ少しありますが、小規模校とそうではない学校とでは、子どもたちがたくましく、のびのびと生活できる環境に違いはあるのかという私なりの視点をもって見させていただきました。

小規模校を見て、将来、子どもたちが社会に出ていくときに、迷わずしっかりと自分らしく成長できるのだろうかという心配が募りました。ある程度、人数がそろった環境で、自ら考え、向上していくという環境が必要だと思いました。そのことは不登校についても関係してくるのではないかと思いました。幼児期からいろいろな人と触れ合って培われていくことが人間関係であり、様々な体験ではないかと思います。小学校や中学校になってから不登校になることの要因には、幼児期の成育環境が大きいのではないかと感じました。

日高小学校で演劇ワークショップを見たときに、人数の多い保育園で一緒だった子どもたちは小学校が変わっても違和感なく溶け込んでおり、手を挙げて発言し、行動していましたが、そうでない子どもは、ワークショップに関心がありながらも溶け込めておらず、ショックを受けました。教育委員会として、小中学校適正規模・適正配置計画を進める中で、その辺もしっかりと伝えて、子どもたちのために何ができるのかを考えていかなければならないと思いました。

(向井委員)

竹野小学校の演劇ワークショップに行かせていただきました。保護者にも参観していただくというもので、多くの保護者が来られていました。子どもたちは、家族が観に来ていた中でも物怖じすることなく、自分たちで考えたストーリーをうまく表現できていたことに感心しました。事前にグループで打ち合わせをし、練習していますが、いざ本番になるとなかなか思うようにはいきません。それでも、コミュニケーションを取りながら、自分たちで劇を完成していく力は素晴らしく、とても頼もしく思いました。校長先生が保護者に「また感想を聞かせてください」とおっしゃっていたので、私たちも機会があれば聞かせていただきたいと思います。

学校訪問で八代小学校に行かせていただきました。保護者の間でいろいろと意見の相違があり、校長先生も「一致団結できない傾向にあります」とおっしゃっていたので、少人数の学校なのにまとまらないことはとても残念だと思いました。コミュニティ組織の方の話では「いろいろ思うところはあっても、小さな区なのでかえって本音では話しにくい」とおっしゃっていたので、難しいと思いました。

また、以前は夏休みの地区プールを盛んに行っていたのですが、今年は保護者にアンケートを取られ、「連れて行けない」「面倒を見れない」という意見が多かったので、中止になってしまいました。子どもたちはそのことをとても残念がっていました。小学校の統廃合についても、子どもたちは保護者の会話を耳にしてしまうと思うので、早く皆が同じ方向を向いて、一致団結して進んでいけるような状況になればよいと思いました。

(佐伯委員)

学校訪問へ行って強く感じたことですが、大きい中学校と小さい中学校を見たときに、小さい中学校だとクラブ活動を選ぶことができないということが本当にかわいそうだと思います。自分たちのやりたいクラブ活動ができる体制になればよいという希望をお伝えさせていただきました。

それから、竹野小学校で1年生の演劇ワークショップの授業を観させていただきました。3つの小学校が統合により一緒になって、どうなるかなと心配していましたが、子どもたちは大変仲良く、生き生きと元気はつらつとして授業に参加していましたので、安心しました。

(成田委員)

学校訪問で、日高東中学校のプログラミング教育の授業を見させていただきました。火星に探査機を送り込んで、遠隔操作でロボットを動かすためのプログラムを組むというものでした。決められたコースに行けるかどうかなど、中学生が楽しそうに、また一生懸命に取り組んでいました。プログラミング教育とはどういうものかと思っていましたが、発達段階に応じたことを実践していくということを勉強させてもらいました。先生誰もがそうした指導ができるかという点、現状では難しいと思います。ロボットを研究している方が外部講師として指導されていました。プログラミング教育を進めていくうえで、外部講師が学校に入ってもらい、カリキュラムとして実践していくことには、まだ課題があり、すべての学校で取り組めるのかどうか分かりませんが、新しい教育として、大いに勉強になりました。子どもたちはこれからそういう世界を生きていかなければならないことを実感しました。

それから、アイティ4階に子どもが集まるこども広場ができていますが、私は時々4階で文化活動をしております。但馬高齢者生きがい創造学院は、高齢者が勉強している施設になり、こども広場の隣にあります。但馬高齢者生きがい創造学院がアイティ4階に移転してきたきっかけは、4階が小さい子どもから中学生、高校生がたくさん集まってきて、わいわいと交流できる素晴らしい場所になるということがあります。部屋はガラス張りになっていますので、中で活動していることが見えます。子どもたちが見てくれるかもしれないし、高齢者と何かしら交流ができればよいという思いもあり、子どもが好みそうな動物や乗り物をテーマにして絵を描いてみました。現状は、高校生はよく来ておられ、勉強等をしたりしていますが、こども広場に子どもの姿、声がほとんどありませんでしたので、寂しい思いをしていました。わくわくまつり 2022 のようなイベントは、人が集まってくる機会になるため、とてもよい企画だと思います。こうしたイベントを開催して、小さい子どもたちや保護者にこども広場を認知してもらい、高校生や小さい子どもが遊んでいる横では、高齢者が嬉しそうにその様子を見ている、そのように交流できる場所になっていけばよいと思います。

【日程 第8 教育委員会活動予定】

(教育長)

日程第8 教育委員会活動予定に移ります。会議予定や今後の活動について、事務局の説明をお願いします。

1 次回教育委員会会議の日程について

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

第8回定例教育委員会会議は、11月24日（木）午後1時30分から、本庁舎2階 大会議室で開催する。

2 今後の活動・行事予定

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

今後の活動・行事予定について、資料に基づき説明する。

(教育長)

以上で日程は終了となりますが、全体を通して何かありませんか。

それでは、次回の教育委員会会議は、11月24日（木）午後1時30分から、本庁舎2階大会議室で開催します。

これをもちまして、第7回教育委員会会議を閉会いたします。

閉会 午後2時30分

この会議録は、会議の内容と相違ないことを証します。

2022年10月24日

教育長

委員